

 **みなみおおすみ**

みんなの議会

第**79**号

令和7年
2月号

P 3~4

決算

令和5年度

P 5

予算

令和6年度 補正予算

P 6~7

審議

私の判断・陳情

P 8~17

町政を
問う

一般質問 9名が登壇

P 18~19

調査

所管事務調査

竹之浦海岸から望む初日の出

2025年(巳年)は「再生」と「成長」を実感できる年に…



ご挨拶

町民の皆様方におかれましては、令和七年の輝かしい新春の幕開けを、清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、本町議会に対し、温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、元日の能登半島地震を始めとする多くの自然災害が全国各地で発生し、甚大な被害をもたらしました。本町においても度重なる豪雨や台風等により、被災箇所が多数に上り、町民の皆様のご生活に今もなお深刻な影響を及ぼしています。また、8月に発生した宮崎県日向灘を震源とする地震に伴い「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表され、大規模地震への関心も高まっており、我々、議会も震災の危険性がすぐ身近にあること、そして一人一人が日頃の災害に備えることの大切さを再認識したところであります。防災・減災対策については、今後も先進地等の事例調査を実施し、執行部へ提言

南大隅町議会議長 **松元 勇治**
を行うなど、積極的に取り組みを進めてまいります。

また、本町では昨今の物価高騰の影響が、基幹産業である第一次産業を大きく圧迫しており、慢性的に続く人口減少や担い手不足の問題は、高齢化率の高い本町の福祉を下支えする介護現場でもサービスの維持を極めて困難にしています。いずれの問題もまさに待ったなしの状況であり、早急な対策が必要であると切に感じております。

今年の4月に任期満了を控え、我々も活動の総括の時期にきています。本町を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、行政のチェック機関としての役割を全うし、今後も町民の皆様の声に耳を傾け、誰もが安心して、心豊かに生き活きと暮らすことのできる南大隅町の実現に向け、議員一同、最後まで全力疾走で駆け抜ける所存です。

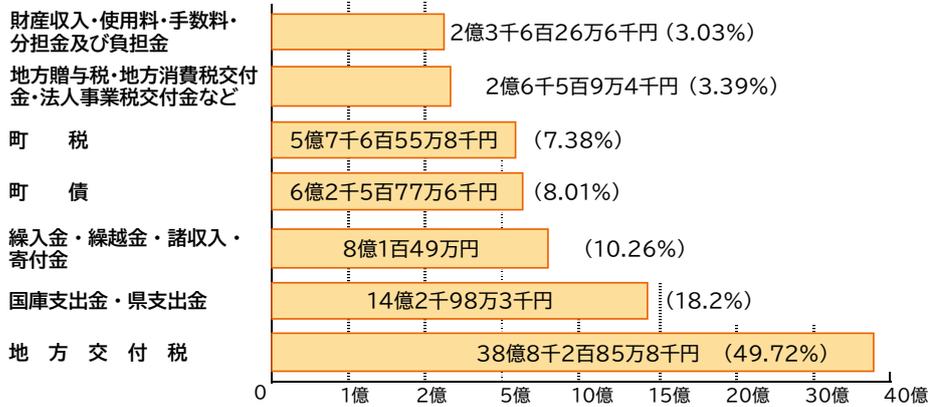
結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、議会を代表しまして年初めのご挨拶といたします。

令和5年度 決算状況

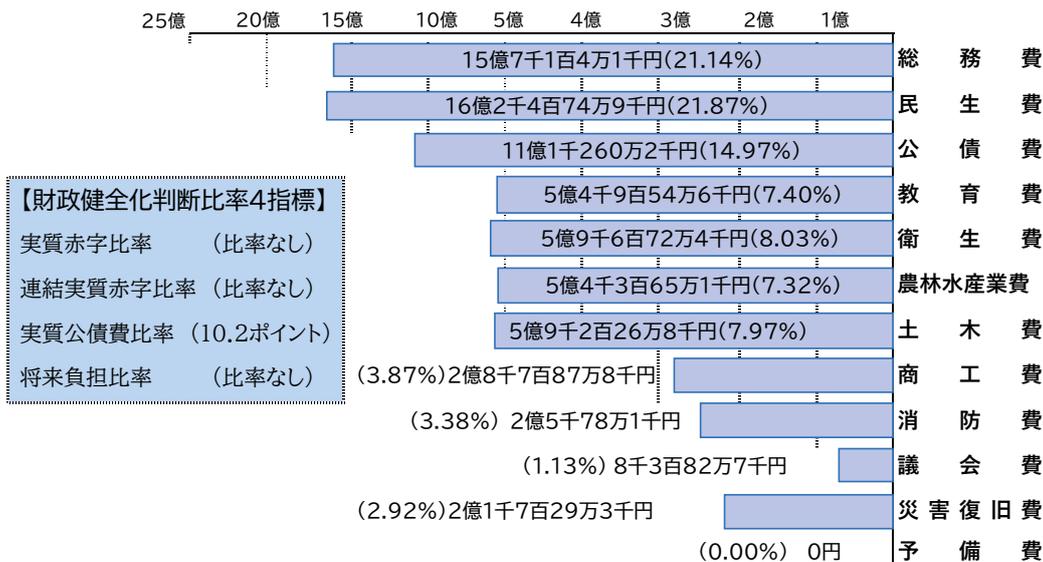
令和5年度会計の決算審査特別委員会を9月24日から10月11日まで現地調査を含め実質7日間の日程で、各会計決算書・主要施策成果説明書・監査意見書などを基に実施し10月会議において一般会計、特別会計（6会計）、水道事業会計の決算を認定しました。

一般会計

歳入合計 78億9百2万5千円



歳出合計 74億3千36万円



【財政健全化判断比率4指標】

実質赤字比率 (比率なし)
 連結実質赤字比率 (比率なし)
 実質公債費比率 (10.2ポイント)
 将来負担比率 (比率なし)

特別会計等

事業名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業特別会計	12億3千6百48万6千円	12億1千7百90万2千円
介護保険事業(保険事業)特別会計	13億7千7百30万3千円	13億1千2百58万5千円
介護保険事業(サービス事業)特別会計	1千4百85万1千円	1千4百85万1千円
診療所事業特別会計	1億2千6百31万9千円	1億2千6百31万9千円
下水道事業特別会計	4千9百59万9千円	4千7百45万5千円
後期高齢者医療事業特別会計	1億4千4百40万8千円	1億4千3百72万9千円
特別会計 合計	29億4千8百96万6千円	28億6千2百84万1千円

【水道事業会計】

(消費税抜き)

総収益	総費用	純利益
3億2百49万2千円	2億7千3百65万8千円	2千8百83万4千円
総収支比率 110.54%	営業利益率△ 156.19%	純利益率 9.53%

令和5年度 決算審査特別委員会 審査公表

主
眼

(歳入) …収入確保の努力とその実績は？

(歳出) …予算額と調定額に対しての収入済額、収入未済額における原因は？
「最小の経費で最大の効果」が得られているか？
公益上の必要性に基づき、効果的な予算執行がなされたか？

決算審査特別委員会
委員長報告より抜粋

企画観光課

- ・観光協会やバイクミーティング等への運営補助の成果
- ・「佐多岬ふれあいセンター」の今後について、スピード感を持って取り組むよう要請

会計課

- ・有価証券等の効率的な運用に期待

経済課

- ・ラジコン草刈り機の運用等を含めた農業公社への取り組みに期待
- ・消費拡大のための肉の感謝祭開催の効果
- ・シカの増加に伴う対策の必要性

総務課

- ・スマイル支えあい事業、地域振興施設の自治会助成事業の利用状況
- ・クリーンエネルギー自動車事業導入によるゼロカーボンシティ宣言の効果

教育委員会

- ・ネッピー・みさきちゃん奨学金の活用状況
- ・南大隅高校存続のための魅力発信交流事業の成果

建設課

- ・住宅使用料未納額の取り扱いについての質疑
- ・町道古殿加治町線路面補修工事についての質疑
- ・重要度に配慮した計画性のある道路除草作業

佐多支所

- ・歯科診療所の利用状況についての質疑

介護福祉課

- ・高齢者や障がい者への支援策の充実

令和6年10月補正予算

避難施設整備事業

149万2千円

消防交通係

令和6年8月8日に発生した日向灘を震源とする地震など、いつ起こるか分からない災害に備え、町民が安心安全な避難ができるよう津波から一時避難するための避難場所を整備するための修繕費用です。



社会体育施設修繕事業

488万0千円

社会体育係

令和6年6月20日の大雨、令和6年8月29日に襲来した台風10号により被害を受けた社会体育施設（佐多山村交流施設・南大隅町立武道館）を避難所としても指定されていることから、早期に復旧するための修繕費用です。



台風10号による被害
(町立武道館2階)

令和6年12月補正予算

社会福祉協議会運営補助

321万7千円

福祉係

蒼水園ヘルパーステーションが、南大隅町社会福祉協議会ヘルパーステーションへ統合されるにあたり、ホームヘルパーの処遇改善等を図るための補助を行います。この統合により、介護サービスの質を向上させるとともに、よりきめ細やかな支援が可能となり、スタッフ配置が効率化され、サポートの迅速化やサービス提供エリアの拡大が見込まれます。



経営発展支援事業

678万3千円

農業振興係

次世代を担う農業者となることを志向する49歳以下の認定新規就農者に対し、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取り組みを支援します（経費の上限1,000万円）。



農地農業用施設災害復旧事業

890万0千円

土木係

昨年の梅雨前線豪雨により被災した農地について、災害査定の結果を踏まえて、早期復旧のための工事を実施します。



災害復旧（梅雨前線豪雨）

道路橋梁災害復旧事業

1億4千690万円

土木係

令和6年8月8日発生地震により被災した町道梶南川内線について、災害査定の結果を踏まえて、早期復旧のための工事を実施します。



災害復旧（地震）

私の判断

○…賛成、×…反対
欠…欠席、—…表決権なし

※議長は表決には加わりません。
※議員個人に関係のある案件の場合、表決には加わりません。

10月～12月会議における議案等審議結果

結果	後藤 道子	森田 重義	日高 孝壽	浪瀬 敦郎	上之園 健三	津崎 淳子	平瀬 十助	大村 明雄	幸福 恵吾	大坪 満寿子	木佐 貫徳和	松元 勇治
----	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	-------

(令和6年10月24日審議)													
決算審査特別委員会付託	令和5年度南大隅町一般会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和5年度南大隅町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和5年度南大隅町診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和5年度南大隅町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算認定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和5年度南大隅町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算認定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和5年度南大隅町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和5年度南大隅町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和5年度南大隅町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
専決処分	損害賠償額の専決処分について	報 告											
	令和6年度南大隅町一般会計補正予算（第9号）の専決処分について	報 告											
	令和6年度南大隅町一般会計補正予算（第10号）の専決処分について	報 告											

(令和6年12月6日審議)													
条例等	請負契約(5 災第 336 号道路災害復旧工事 (伊座敷浮津線))の契約締結について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	南大隅町税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	南大隅町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

(令和6年12月13日審議)													
予算	令和6年度南大隅町一般会計補正予算（第11号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和6年度南大隅町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和6年度南大隅町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和6年度南大隅町水道事業会計補正予算（第4号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和6年度南大隅町下水道事業会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
陳情	原地区山腹のり面山腹崩壊砂防工事について	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	

pickup

契 約

◇5 災第 336 号道路災害復旧工事（伊座敷浮津線）

- 契約額 72,050,000 円
- 契約の方法 条件付一般競争入札
- 契約の相手方 成武建設株式会社

条例改正

◇南大隅町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例制定について

これまでは住民税非課税世帯のみ未就学児から高校生までの医療費の窓口負担を0としていましたが、令和7年4月診療分から住民税課税世帯も同様とするため、必要な条例改正が行われたところです。



◇陳情第2号

原地区山腹のり面山腹崩壊砂防工事の陳情について

【審査結果】

教育産業常任委員会に付託され、採択と決定。今後は執行部と一丸となって、県や関係機関へ働きかけを行っていくべきとの意見で合意。

【理由】

現場の山腹は、国道269号線からも、目視できるように、大きく2箇所の崩落があり、大変危険なように感じ取ることができ、下流域に住居や農地を抱える住民が、不安な生活を強いられていることが容易に理解でき、その回避に向け、迅速に行動しなければならぬ。よって、願意は妥当で、十分理解できる。



崩落箇所の様子

南大隅町議会では本会議の様子を ユーチューブにて録画配信しています。

チャンネル登録をお願いします。

南大隅町議会



- ① スマートフォンのカメラを起動
- ② 下の二次元コードにかざす
- ③ 「YouTube で開く」 をタップ



※9ページからの一般質問コーナーにある二次元コードを読み込むと、各議員の質問の様子が直接ご覧いただけます。

リンク先にはYouTubeサイトに開設している「南大隅町議会」のチャンネルが表示され、最新の議会動画や過去の動画を視聴することができます。

町政を問う!

12月会議

一般質問



質問順	質問事項	質問議員
1	・町道「古殿加治町線路面補修事業」に関する事業変更の説明について (9ページ)	森田重義
2	・教育支援について (10ページ)	大坪満寿子
3	・南大隅町総合振興計画について (11ページ)	平瀬十助
4	・職員の働き方と魅力ある職場環境づくりについて (12ページ)	幸福恵吾
5	・町長の2期目立候補表明について ・高齢者福祉対策について (13ページ)	木佐貫徳和
6	・地域福祉の担い手について ・ネッピー・みさきちゃん奨学金制度について (14ページ)	後藤道子
7	・防災・減災について (15ページ)	津崎淳子
8	・国が倍額交付を予定している「地方創生交付金」の活用見込みについて (16ページ)	上之園健三
9	・昨今の物価高騰への対応について ・道路整備について (17ページ)	浪瀬敦郎

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を資し、所信の表明を求めるもので、議員固有の権能として与えられたものです。

一人当たり持ち時間は、答弁を含め60分です。掲載されている内容は、質問者自身が要約し広報委員が構成したものです。

森田 重義 議員

町道「古殿加治町線路面補修事業」に関する事業変更の説明について

詳しくは
YouTubeで



質問の意図

町道「古殿加治町線」は、令和5年度当初予算では、**路面補修工事**として提出され、承認可決された事業であったが、令和5年度決算審査特別委員会で、現地調査を行った結果、**執行内容は道路改良拡幅工事**であり、明らかに工事名と異なる事業執行であったため、決算審査特別委員会の審査過程で反対討論を提出した。しかしながら、委員の同意は得られず、決算は認定すべきものとして議会へ提出がなされ、認定可決された案件である。事業変更の説明が議会側になされていないことに対して、今回、質問を提示し、答弁と説明を求めた。

議員 一つ事業は変更になったのか、またその理由は。

町長 令和5年度予算編成時以前から用地等の相談を実施しており、当初計画では離合できる

スペースの確保としてお願いしていたが、発注時までに最終合意に至らなかったことと、現状の仕上げでの工事については理解をいただいたところであり、その発注後に、工事拡張についての了承が得られた。

議員 当初から古殿加治町線は道路改良工事としての計画があったと町長が言われていたが目の前の、空き地を用地買収すれば、もつと低予算でできる可能性があったのではないか。

町長 道路の直角交差という部分では通行される方々が通行しやすい道路を作るのが一番である。利便性が高まるよう、町民の要望も踏まえている。現在の道路の線形は錦江警察署



や県公安委員会等の指示のもと計画した。

議員 事業変更についてなぜ、議会に対して説明を行わなかったのか。

町長 年間には相当件数の工事発注があるが、当該工事は当初計画に対し計画の中止や大きな変更等には該当していない。また、南大隅町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づいた契約案件ではなかったことから、特にこれまでにも議会への説明を行っておらず、今回も同様の取り扱いをしたもの。

【参考】南大隅町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条によると…

議会の議決に付きなければならぬ契約は、予定価額5000万円以上の工事又は製造の請負とされているため、当該工事は該当しない。

議員 当初予算の承認時点では我々は路面補修工事として承認したが、決算では事業の執行内容が違ったので、私は採決で決

算不認定とした。議会にきちんと説明していただかないと、私のように疑問を持ち続け、不信感が生まれる。説明があれば、その時点で地域住民のための様々な提言ができたのにも考える。

町長 改良工事に値する部分を維持補修として執行した点については決算審査でも説明し、その部分はきっちり取り組んでまいりますので、ご了承いただきたい。

議員 透明性の確保と今後の改善策について伺う。

町長 予算計上の段階で、工事内容の説明を今以上に丁寧に行うと共に、設計内容と工種等についても、建設課としての考え方を統一し、担当職員間での整合性のある工事内容、執行に努めていく。

議員 我々議員としても、当初予算で提示された事業内容について、中間検査等も必要になってくるんじゃないかと考える次第である。そういうところまで監視しなければならぬということがないように、今後も取り組んでいただきたい。

議員のひとり言

「最小の経費で最大の効果」を！

宮迫武蔵・オノリ教育
基金の活用による修学
旅行支援。その拡充は

教育長
支援内容の見直しの時期に
来ていると考える



詳しくは
YouTubeで



議員 南大隅町の子どもたちのために使って欲しいと宮迫

ご夫婦により遺贈され、設立された教育基金を活用して、子育てしやすい環境にしようという町の姿勢は、私を含め町民の皆様も高く評価していると考えます。現在の基金残高と、令和5年度に基金をいくらか取り崩し、活用されたか。

教育振興課 基金残高は、令和5年度末で1億5580万9千円で、令和5年度で、1133万8千円を取り崩している。

議員 現在の根占地区、佐多地区の児童生徒数と、5年後の予想数は。

児童生徒数の推移 (単位：人)

地区・学校名		現在 (R6.11)	5年後 (見込み)
根占地区	神山小学校	167	151
	根占中学校	129	85
		296	236
佐多地区	佐多小学校	23	9
	第一佐多小学校	23	11
		46	20
(総 数)		342	256

教育振興課 別表のとおり。

議員 修学旅行助成事業に関しては、佐多地区の生徒数が

少ないため、生徒一人当たりの単価が割高になっている。支援内容の見直しの時期にきているという答弁だが、地域に関係なく、行き先が同じような場所であれば、同程度の負担額になるような支援のあり方を望むが、町長の考えは。

町長 これについては各方面から要望がある。現在、検討中であり、前向きな取扱いをしていく考え。

議員 町が行っている給食の無償化を国が実施するとなれば、基金への影響額はいくらか。

教育振興課 宮迫武蔵・オノリ基金より395万3千円を充当。

議員 国の無償化が実現すれば約400万円の財源確保ができる。平等に支援が行き渡るよう強く要望する。

高校生の通学支援は

教育長 現在は、南大隅高校存続に特化して、南大隅高校に通学する生徒にのみ上限5千円を支援している状況だが、様々な角

度から検討していく必要があると考える。

議員 高校存続は非常に重要な課題であることは認識している。一方で、子ども自身が進みたい高校へ進学できる環境づくりも必要ではと考える。目指す職業に応じて、自分の進学したい高校があるはず。

佐多地区から鹿屋の高校に通うバスがないため、子どもの進学に合わせて保護者も一緒に転出するという事態もあると聞く。私は、このような事態を、どうしても食い止めたい。また、公共交通機関の利用促進を考えるうえでも、南大隅高校存続推進事業とは違う角度からの支援が必要だと考えるが、町長の考えは。

町長 佐多地区の子どもたちはあと5年もすればかなり減少するため、実施すべきは今だと考える。バイク通学も含め実施に向けた形で調整していく考え。

議員 根占地区からもバスやバイク通学の生徒がいる。子育て環境が自然豊かな本町の移住定住のカギになるのでは。早急な通学支援を望む。

議員のひとり言

今年一年が皆様にとって、より良い年となりますように。

平瀬 十助 議員

南大隅町総合振興計画について何う

議員

総合振興計画は、町の中長期的な発展を支える基盤であり、町の最上位計画と位置づけられる町政運営の指針となるべきものである。現在、本町の総合振興計画は次期計画を策定中だが、計画がその本来の意義を十分に認識され適切に活用されているか、また、現在の検証が次期計画に生かされるのが重要と考える。

計画の意義と町政運営における認識は

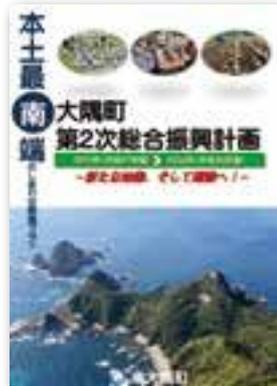
町長

総合振興計画は、より良いまちづくりを総合的かつ計画的に推進するための、町政の基本方針としての役割と性格を有し、町の最上位計画と位置づけられ、町政運営の方向性を示す重要な計画であると認識している。現在、令和7年度から令和16年度までの10年間を計画期間とする

詳しくは YouTube で



第3次計画の策定作業を進めているところである。



南大隅町第2次振興計画 (表紙)

第三次計画の策定方法と進捗状況は

町長

策定方法については、職員で構成する策定部会及び各種団体長等で構成する審議会へ諮問する。その後、パブリックコメントや審議会での審議、答申を経て、来年3月会議において、議案提出したい。進捗状況については、現在、策

定部会での素案作成が終盤となっている。

議員

町長が考える次期計画の特徴、重点的に取り組むべき課題を伺う。

町長

第2期の振興計画でもあったとおり、やはり第一産業に従事されている方々が、地域の中でも自治会や公民館役員、消防団など色々な部分で地域を支え、町を支えている。

若い世代で頑張っている方々、生きがいづくりで頑張っている方々、生きている方々など、町の将来を見据え、農林水産業に従事する方々を重点的に支え、存続の要として、大事にしていきたい。



地域の要となる第一次産業従事者

議員

総合振興計画の基本構想、基本計画、実施計画、過疎地域自立促進計画を再度読んでも、「それならどうするの」という感想を拭い切れない。それは、進行し続ける人口減少が背景にあるからだと考ええる。人口減少は、消費

市場の縮小や労働力不足など需給両面において地域の活力を衰退させる大きな要因となるからである。かつて、西郷南洲が愛したこの地は、多くの景勝地を有した自然豊かな土地である。郷土を愛し、一丸となって取り組む為にも現行の計画を大幅に見直し、官民一体となり、新たな産業を興し、躍動する町づくりを目指す必要があると考える。この町の「是」とは何なのか、この町の将来とは何なのか、明確な目標を立てることが重要である。総合振興計画は町の未来を切り開くための羅針盤であり、その策定過程で町民と行政、議会が一丸となることが重要。次期総合振興計画が、計画の実効性を高め、町の発展を推進する計画となることを期待したい。

※「是」とは 地域の特性や魅力、価値を示すための指針や理念のこと

議員のひとり言

ひとつひとつを大切に。ひとりひとりを大切に。

職員の業務の効率化と既存事業の見直しについて進捗状況は

詳しくは YouTubeで



町長 事務のデジタル化により効果は上がっており、町民への影響を考慮しながら事業の見直しも進めている

町長 業務の効率化については、第一段階として職員の時間外業務や休暇の取得状況を労働衛生委員会等で、現況把握と分析、

その状況を踏まえて、職員の労働効率を上げるための有効な事務改善策を進めており、それまで手書きやアナログ管理していた事務をデジタル化（以下DX化）することで、削減効果を上げている。既存事業の見直しについては、事務改善で得られた余力を活用して、事業見直しのための効果検証や代替手段の検討を行っている。町民の皆さまにも影響が大きいことから、業務効率と町民への影響度を考慮しながら進めている。

議員 デジタル推進課の設置により、DX化はどのように進められているか。

デジタル推進課長 まずは決裁の電子化や、勤怠管理システムの導入によるペーパーレス化に取り組み、

おり、インターネット環境の整備、公用車の運転日誌等の電子化、会計と文書管理の電子決裁も導入していきたいと考えている。こういった取り組みで、来庁者や対応する職員の、作業負担の軽減や時間短縮を目指す。

議員 デジタル推進課には民間職員の複数名いるが、専門的な技

能が活かされているのか。

町長 そこは私も感じている。町のDX化の方向性については、県のDXアドバイザー等の意見も聞きつつ、自治体としてのスタンスを協議している。DX化を進めていく上では、職員のパソコン操作能力も必要となるため、

現在は他の職員へのアドバイスも含め対応してもらっている。



証明書自動交付機を設置し窓口での時間短縮を目指す

議員 今朝、小学生の娘が「議会で、ユニバーサルデザインのことを言っていた。もつとスロープをいろんなところに付けて、車椅子の人たちが通りやすいようにしてほしい。」と言ってきた。また娘は、自然豊かな南大隅町に大人になってもずっと住みたいと言っている。子どもたちの未来を考えたときに、30年後、町が成り立っているのか。少子高齢化に伴う人口減少、様々な場面での担い手不足など、ここ数年で徐々

に町は衰退している。そこに歯止めをかけるために積極的な策を打ち出しているか。今何かをやらなければならぬ。私も議員として、地域の住民として、職員を含めて町民全体で、町の課題に向き合っていかなければならないと考えている。今後、地方創生交付金が増額見込みであると聞くが、これを何に使っていくのか。職員については、町の財源を預かる中で、その財源を生かした積極的な政策を考えてほしい。そのためにも、職員の働き方を含めた既存業務の見直しを行って、事業を再構築していく必要性があるのではないかと考える。

町長 職員の中の働き方改革という部分では、職員一人一人に余力を持たせる環境をつくっていくかなければならないと感じている。そして、職員また職員同士の会話の中の意見が予算編成にも反映させる力をつけていくことが大事であり、そういった環境になりうるDX化を含めた職場環境の改善、適正な人事異動、そしてまた、職員の能力が上がるような研修の機会、そういったものを考慮しながら管理運営をしていきたいと考えている。

議員のひとり言

選挙は人を選ぶだけではなく、みんなで一緒に町の未来を考える時間にしましょう。

木佐貫 徳和 議員

町長2期目の立候補で町民に何を訴えていくのか？

町長 第一次産業の支援、子育て世代の支援、自治会活動の支援、福祉サービスの支援など



詳しくは YouTube で



議員 1期4年の成果をどの様に捉えているか。

町長 就任時に、即戦力をキヤッチコピイとして掲げ、大きな

3つの思いとして、第一次産業の支援、子育て世代の支援、自治会活動の支援と10本の柱を礎に町民の意見を拝聴し、約束したことを着実に実行している。町民の声を大切に現場に足を運び、町政の課題解決として1期目の政策基盤が着実に成果を出したと考えている。

議員 本町は高齢化率鹿児島県一の町である。高齢者の方々が安心して住める町づくりが大切だと感じるが、高齢者支援について、どのように考えているか。

町長 65歳以上が半数になり、高齢者支援も含め総合的な福祉に取り組むべきことと、十分に認識している。

議員 町長の1期目の4年間はコロナ交付金や合併特例債など有利な財源があったが、今、石破総理が地方を大事にするふるさと創生事業に大幅に予算を計上していくと発表された。具体的には国の方針が示されてはいるが、このふるさと創生事業をどの様に活用していくのか。

町長 地方創生臨時交付金になるが、これは1番、物価高騰のあたりを受けている方々を優先的に支援していきたい。今後、1月から2月に今年度分の補正予算が交付さ

れる。職員、議員皆様方からの意見を踏まえ、なすべきことを絞りこんでいきたい。

議員 今までは、他町を真似て、事業を実施してきたが、このふるさと創生事業は、職員が知恵を絞り、町独特のアイデアを出して取り組んでほしい。

高齢者福祉対策について何う

議員 現在の介護認定状況で、介護老人福祉施設入所待機者は何名か。

町長 本町の介護老人福祉施設は1法人が運営しており、入所待機者は55名である。

議員 入所評価基準により、町内外に行かざるを得ない方は町外の施設入所希望ほどの程度か。

介護福祉課長 近隣施設では青山荘23名、南松園14名の希望がある。

議員 介護認定を受けた施設入所希望者が81名おられる。介護

老人福祉施設は必要であると感じるが、町長の考えは。

町長 佐多、根占の両施設においても働き手の確保が厳しいとのことであるが、そのような中でも、介護施設はどうしても必要な施設であることは十分認識している。

議員 山村交流施設でのデイサービス状況はどうか。

町長 令和5年11月より山村交流施設を活用し、新たな事業所によるサービス提供が行われている。登録者数は51名で、一日平均15名程度の利用がある。

議員 地域密着型通所介護事業所として1日18人以下の利用で町長の認可でスタートした。利用者の方々の利便性が高まるよう、整備してほしい。

デイサービスで過ごす時間が「楽しみ」や「生きがい」へと繋がる



議員のひとり言

65歳以上の方が半分以上の町、高齢者が住みやすい町づくりに…

福祉の担い手不足解消の施策は



町長 関係団体との連携を 深め、育成に取り組む考え

議員 令和5年9月の一般質問で今後のヘルパーの処遇改善を検討すると答弁されたが結論を伺う。

町長 ヘルパー事業は、対象高齢者の生活維持に直結するため、サービスの提供の継続が重要。3法人のサービス事業所での協議検討の結果、令和7年1月から2法人が統合し、その後1法人が合流する予定である。

ヘルパーの処遇改善を図ることで職場の構築と訪問介護事業の継続、人材確保が可能となり、サービスの質を向上させ、よりきめ細やかな支援が可能となるための施策を講じる計画である。

議員 現在のヘルパー不足は賃金だけの問題ではないのかもれない。現状を把握するためにアン



ケートや聞き取り調査などはされたのか。

福祉課 介福課 蒼水園については11月22日から面談をして、社協についても順次、面談の予定。

議員 現状を把握するためには事業者だけではなく、介護福祉課も調査をする必要性があると考えますが、予定を伺う。

町長 事業者も含め、町と協議する予定である。

議員 処遇改善算も必要だが、時給単価を上げる支援の必要性についての考えは。

町長 サービス単価は変わらず、費用弁償を整理する予定。

ネッピー・みさきちゃん奨学金を 希望者全てが利用できる制度に改善は

教育長 補助金という制度の中での支援なので 難しいとの考え

議員 宮迫武蔵・オノリ教育基金は、令和5年度の残高は1億5580万9千円で、5年度取崩し額は1133万8千円です。

奨学金設立から7年で、人材育成に使ってほしいという浄財なので、活用してこそ意義があると考えます。この基金を利用して、小・中学校入学時、修学旅行などに支援をされているが、高校、大学、専門学校にも支援を拡充する考えはないか伺う。

教育長 義務教育を卒業してから進路は複雑な形になり一元化は難しいので、義務教育の時代に手厚く、幅広く支援することを大事に考える。

議員 子どもが減少していく中で、浄財を今活用してこそ意義があると考えますが、町長の考えを伺う。

町長 宮迫武蔵・オノリ教育基金は本当にありがたい寄付である。ネッピー・みさきちゃん奨学金に活用をしているが、全員に公平に支援できるのが義務教育課程で、そちらを優先しているが、高校への支援もという保護者からの声もある。惜しみなく活用していきたいと考えているが、具体的な部分については、今後検討させていただきます。



浄財は活用してこそ意義がある！

議員のひとり言

津崎 淳子 議員

台風10号の際の避難所の被害と修繕状況は

詳しくは
YouTubeで



教育振興課長
武道館、旧大泊小、旧登尾小で被害あり。現在修繕中。

議員
昨年も武道館は雨漏りがあった。役場の大会議室（を避難所に）との声も上がっているが。

総務課長
大規模災害発生時に情報収集の拠点場所となるため厳しい。

議員
町体育館は床が痛くて利用者数が少ないと聞くと、武道館のように畳に代わる敷物等の整備を考えられないか。

総務課長
防災用品の中に同等の敷物もあるのに対応していきたい。

議員
おおすみの園の建替え時に大規模災害時の福祉避難所としての活用も踏まえ補助をしているが、一次避難でも利用できないか。

福祉課長
協定上、大規模災害に捉われず福祉避難所として使用することに理解をいただいている。受け入れ可能人数等については、今後協議を重ね対応していく。

議員
台風10号の際に、JAきもつきの大会議室を開放していただいた。二次避難所だが、今後も一次避難所としても利用できるのか。

総務課長
今後も連携を取り、ホールも含めて、開放をお願いしていきたい。

議員
徒歩圏内の方も多数いらつしやるので、周知していただきたい。

現在の地域防災計画で自治会の役割はどうなっているか

町長
町内117自治会を自主防災組織として位置づけている。

議員
自治会における自主防災組織は重要。熊本地震による年輪別死者数の統計によると、80代が最も多く、70代、90代と続く。高齢者が被災する主な原因が、近所への遠慮や情報不足、思い込み。このことから地域での交流を増やすべきと結論付けられた。コロナ禍や人口減少等により、交流が減った自治会もある。まずは、災害情報等が出た時の避難行動についてのアンケートを作成し、本人承諾のもと、自治会内で共有し、話し合うことで問題提起にもなり、顔の見える関係の構築により、それぞれの自治会に合った自主防災組織が出来上がっていくのではないか。

防災トイレや資材の確保は

議員
台風10号の際は、佐多は一時期陸の孤島となった。辺塚や大中尾、横別府など道路が寸断されると大規模災害時に使用する物資が運べなくなる。また、災害時に困るのがトイレ。簡易トイレは両地区だけの保管ではなく、分散させた方がよいのでは。名古屋工業大学の教授が発案した屋内用の段ボールハウスと屋外用避難所としてのインスタントハウスはプライバシーが保持でき、安価であり、短時間で

設置できる。災害支援協定を複数の自治体と締結しているため、可能ならば、わが町でも検討を。



避難所でのプライバシー確保や感染症予防に有効

議員
防災・減災のために、避難所の整備、資材の充実と分散、地域に合った自主防災組織づくりなどを進めていかねばならない。現在指定している避難所が安心できる場所か、避難所によって格差がないか、見直す時期ではないか。

町長
町内の避難所すべてを同様の環境にするべく、避難所整備については、緊急、喫緊の課題として取り組むたい。
避難の形が大きく変わってくるので地域防災として、自治会等へのアドバイスも行いつつ、防災に取り組んでいきたい。

議員のひとり言

国の防災計画は、場所（避難）から人（被災者）への支援に変わる。

国が倍額交付を予定している

「地域創生交付金」の

活用見込みは？

町長 物価高騰影響者への支援 事業を見込む

答



詳しくは YouTubeで



※地方創生交付金とは、地方での暮らしを展開している、或いは展開しようという自治体に対して、国が資金を提供するという制度で、2014年に創設された。

議員 先の衆議院選挙で総理が倍額交付を予定する地方創生交付金は、令和6年度補正予算分と令和7年度本予算分の計上が考えられるが、その活用見込みは。

町長 令和6年度補正予算分については、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を引き続き支援するという国の指針に沿い、本町では第一次産業など町の実情を踏まえ、物価高騰の影響を受け

農林水産業の新たな施策は？

ている低所得世帯や住民税非課税の子育て世帯などの町民を対象に支援事業を検討する。
令和7年度予定分については、国の支援メニューや交付額等を見極めつつ検討することとしており、现阶段では具体的内容は控える。

議員 この交付金は、国が示す大綱に基づき、各自自治体の実情に応じて講じる施策に対して支援する交付金であると認識するが、物価高騰支援を考慮しつつも今後の交付金事業として農林水産業の持続継続に向けた新たな施

策は考えないか。

町長 第一次産業従事者の皆様により高齢化の進む地域自治会が支えられていることは過言ではない。必然的にその方々が生

業とする農林水産業の維持継続に向けた支援を進めることは、施策の根幹である。皆様の所得向上に向けた効果的な施策の展開を念頭に取り組む。

議員 これまで提案した農産物の最低価格補償制度や農協等の出荷手数料の公費負担に加え、今後の農家減少を推測すると未耕作農地のさらなる進行が心配される。農地保全と併せて経営規模拡大及び法人化への誘導が一助となり得ると思うが、大規模面積を借り受ける農業生産法人などの経営体にかかる借地料の2分の1軽減措置は考えないか。

町長 耕作を放棄された農地を元に戻すことは多額の経費を要する。農地保全の観点から考慮すると、法人等の経営体に借り受けてもらうことは有効策と考えるので、提案を踏まえ、実施の方向で検討する。

観光業の新たな施策は？

町長 佐多岬及び雄川の滝の整備がほぼ終了状況であり、今後は施設の維持管理と自然保護並びに多様な個人旅行のニーズに応える施策が必要。交付金の活用については、今後国が示す具体的内容を確認し、検討する。

議員 観光地の振興には3つの策が重要と言われる。一つは「景観」。二つ目は「食」（地の食材の活用）。三つ目は「女性」がもう一度行きたいと思える施設やサービスがあるか」ということ（中でも地の食材に関する事業は重要）。リピーターの増加と南大隅町ファンの醸成のために女性をターゲットにした観光施策は考えないか。

町長 「食」に関する事業展開については、地元事業者等のご意見を賜りつつ、様々な展開を想定した形で、幅広い年代に来町してもらえよう、今後の施策に取り組む。

議員のひとり言

地域創生交付金は、もう少し使い勝手の良い交付金であって欲しいものだ！

浪瀬 敦郎 議員

本町における 物価高騰の現状は

町長 **生活必需品等の価格高騰で、
町民生活に大きな影響を及ぼしている**



詳しくは
YouTubeで



議員 今後の動向をどう認識しているか。

町長 世界情勢の変動による物価高騰は全国で深刻な影響を及ぼしており、本町でも影響は大きく、高齢世帯や子育て世帯に大きな負担となっており、今後もこの状況は続くものと考えています。

議員 これまで町でどのような支援をしてきたのか。

総務課 令和4年度から国の交付金を活用して支援を行っている。主なものは、町内全世帯へのプレミアム商品券の発行事業、畜産農家への飼料原油価格高騰対策事業、福祉施設設における物価高騰対策事業、飲食店の応援事業

業、水道料の基本料の減免などがある。

議員 一次産業へのさらなる支援は可能か。

町長 物価高騰については要望もある。国からの物価高騰支援と併せ、可能な中で財源枠として、きつちり調整していく。

議員 高齢者への支援をどのように考えるか。

町長 高齢化率県内一の本町では、これまでに見守り活動等、様々な支援を展開してきた。物価高騰、経済対策事業としては、生活応援商品券を全町民に配

布して、家計への負担軽減に努めており、今後も、経済状況を考慮し、高齢者への負担軽減を検討していく。

議員 高齢者への負担軽減に対する具体的な支援策は。

町長 スマイル補助事業の中で、自治会内の70歳以上の方に人数かける一千円の給付を行っている。

議員 この町で頑張つてこられた高齢者の方々に良い町であつたと最後まで思つていただける施策をお願いしたい。

立神林道の開通 予定は

町長 令和5年度末から順次、工事施工を行っているが、建設機械等の搬入経路が限られていることから一度に施工できる箇所制限がかかることや台風6号以降の豪雨等により被害が拡大した箇所などの調整・設計や関係機関との協議等に時間を要していることから、全ての箇所の工事着手には至っていない状況。

引き続き、

着工箇所の工程管理の徹底と、関係機関との協議・調整を迅速に進め、令和7年度には全線開通できるよう努める。



立神林道工事施工中写真

大隅縦貫道大中尾 工区の整備状況は

町長 本工区は、農畜産物の搬送ルートとして、また国道269号などと併せて災害などによる通行止め発生時の相互利用や、佐多岬などの観光振興にも役立つことが期待されているが、急勾配・急カーブが続く幅員も狭い箇所が多いことから幅員を拡幅し、安心安全な通行を確保する整備を実施するものである。

現在の整備状況については令和5年度末の進捗率が、事業費ベースで12%となっており、平成6年度は用地買収や道路改良を実施する予定となっている。

議員のひとり言

高齢者支援。第一次産業支援。さらなる政策を。

総務民生常任委員会では、令和6年10月28日に奈良県川上村において、特定地域の現状や課題の把握及び空き家を有効活用し移住定住促進につながる策を見出す為、『特定地域づくり事業及び空き家を活用した移住定住促進事業等調査』をおこないました。

川上村は大阪市と同じ面積を持っておりますが、人口は1207人で高齢化率は57.8%の超高齢化の村ですが、平成8年には、川上村の歩む未来を示す「川上宣言」を全国に向けて発信されています。

川上村では、すまいる住宅整備事業として、村が村内の空き家を一定期間借り上げ、必要な改修を行い、定住希望者に貸し出しをさせていただきます。

行政主導で改修をおこなった場合、民間事業者に比べて、工事費が高額となるため、改修費用を念頭に別件の選定作業が必要なことや、10年後の契約更新時の条件交渉を事前に進めておくことが大事であることなど、事業内容について詳しく説明を受けました。

～自然あふれる理想の暮らしがここに～

奈良県川上村の移住・定住支援の在り方に学ぶ

ほかにも、事業協同組合かわかみワークといった、移住定住推進事業をすすめており、川上村で頑張る事業者や、川上村で働く人を応援する取り組みに力をいれておりました。

2014年の調査で、消滅可能性都市全国ワースト2位だった川上村が、すまいる住宅制度や、子育て世帯への支援策、移住希望者等への支援など、住居と仕事をセットで支援できる取り組みのおかげで、0歳から15歳までの人口が、2014年53人だったものが、2023年には77人にまで増えたとのことでした。

川上村は、わが町と同じくとても自然豊かな村ですが、主要施設が1か所にまとまっており、非常に利便性が高く住みやすいのではと感じました。

わが町でも、年々増えつつある空き家等を上手く活用し、また住民にとっても移住される方にとっても住みやすい町づくりを力を入れていただきたいと思います。



村の中心を流れる吉野川



説明からも村の活気が感じられる

10月28日に奄美大島の宇検村にて山村留学制度等について現地調査を行いました。今回の最大の目的は、人口戦略会議が今年4月に公表した「自立持続可能性自治体」に県内で唯一位置づけられた宇検村において、その主な要因とされた「親子留学」の取組みについて調査することでした。

村内4学区のうち、阿室校区では人口減少に伴う学校の存続が危ぶまれ、地域の活性化を図る目的に、平成21年10月に活性化対策実行委員会が立ち上げられたようです。南大隅町が合併する前、旧佐多町で実施されていた「海の子留学」の里親方式ではなく、「親子山村留学制度」を採用されたことが、移住・定住の成果につながったとの説明を受けました。阿室校区の成果を受け、平成23年には名柄校区でも同様の活性化委員会が立ち上げられ、両地区とも、定住率約40%の成果が見られています。宇検村は、1600人程度の村ですが、養殖業や酒造等の働く場所が多いことが、定住につながる要因との説明も受けましたが、行政主導ではなく、地域の主体性が大切であると感じたところでした。

～県内で唯一の「自立持続可能性自治体」に位置付けられた村～
鹿児島県宇検村の「親子留学」の取組みに学ぶ



宇検村での調査の様子



龍郷町での調査の様子

二日目は、龍郷町の教育民泊を中心に、龍郷町の活性化に資する取り組みなどの説明を受けたほか、実際にハブの引き受けなどの様子にも立ち会うことができました。龍郷町でも地域住民の理解と協力が取り組みの成功裡に繋がる要因となっており、2日間、有意義な所管事務調査となったことから、地域の活性化、人口増加策として今後の町政の参考になるよう提案してまいります。

第42回議員大会及び全議員研修会

令和6年10月18日に肝付町の高山やぶさめ館において、郡内の議員が一堂に会し、第42回議員大会が行われ、「東九州自動車道、大隅縦貫道及び域内主要道路等の整備促進に関する決議」、「物価高騰等を踏まえた地域経済対策の充実強化に関する決議」、「防災・減災、国土強靱化対策の充実強化に関する決議」がなされました。

また、続いて行われた全議員研修会では、内之浦宇宙空間観測所の羽生宏人所長を招き、「ロケット業界 これまでとこれから」と題した講演をいただきました。超小型衛星の打ち上げ開発のプロジェクトリーダーとして、多くの困難を乗り越え、現在は既存の枠にとらわれない新たな技術開発や後進の研究指導にあたっておられるとの大変興味深いお話でした。また、その後のグループ討議では決算・予算審査の取り組みについてなど、活発な意見交換がなされました。



編集後記

「何となく今年が良いことあることし
元日の朝晴れて風無し」

今年の新年あいさつ会での教育長あいさつ
の一文（ちよつと拝借）。

能登半島地震から一年、復興途中にある被災者が恵まれない生活にありながらも一年の出発の日に何か今年が良いことが皆にも訪れて来るような感じがする。そう思えるような清々しく風の無い平穏な元日であったことを記憶したい。

今年には任期満了の年。これまでを振り返ると、一般質問の前後にいつも思うことがあった。情勢を見極め時勢の折々、日々の生活を観察し、足りない施策を提案してき たつもりであるが、町民そして町の繁栄に役立っているのかと。

さらに文章で伝える難しさを痛感。政治は「信なくば立たず」と申します。皆様からいただいたご意見を町政に反映させるべく取り組んだ四年間であったと思うも自己採点で70点ぐらいだろうか。

今後も町政そして議会を身近なものに感じてもらえるよう努めて参ります。皆様のご意見ご要望をお聞かせください。

上之園 健三

南大隅町議会 広報広聴常任委員会では、議会広報誌のモニターを募集しています。

年4回発行される「みんなの議会」に対して、皆様のご意見やご感想をいただき、今後の議会広報活動に活かしていきたいと考えています。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

【連絡先】南大隅町議会事務局

☎0994・24・3141

【お知らせ】

3月会議は、2月25日、3月6日、7日、10日、本庁議会事堂で開催予定です。

「みんなの議会」で見ることができない議会をご覧になれます。詳しい日程などは議会事務局までお問い合わせください。

【発行責任者】

議長 松元 勇治

【広報広聴常任委員会】

委員長 幸福 恵吾
副委員長 後藤 道子
委員 森田 重義
委員 上之園 健三
委員 平瀬 十助
委員 津崎 淳子